

「令和元年台風第19号に関する市民アンケート」調査結果報告について
～逃げ遅れゼロに向けた『自主避難』を～

1 概要

令和元年台風第19号の接近に伴い、城山ダムからの緊急放流が予測されたことから、相模川の浸水想定区域内の約54,000人に対し「警戒レベル4 避難指示（緊急）」を発令し、市内の避難所には過去最大となる約5,000名の方が避難されました。

今後の避難対策、防災対策を検討するため、相模川の浸水想定区域内の居住者に対しアンケートを行いました。

2 調査期間 令和元年11月22日（金）～12月23日（月）（32日間）

3 調査対象 相模川の浸水想定区域内に在住の約54,000人の内、無作為に抽出した2,000人

4 回答者数 1,011人（回答率50.72%）

5 公表スケジュール 3月1日号広報えびな等にて結果を公表

6 アンケート結果概要

- 全体の約16%の方が、相模川洪水時に逃げ遅れが危惧されることが判明しました。
- この約16%方が避難行動を躊躇した主な要因は、「ペットの同行問題」や「赤ちゃん・幼児」、「歩くのが辛いなどの身体的理由」でした。
- 今後の対策は、雨の降る前や避難情報発令前の安全な時期から、自助・共助により避難所以外に避難する『自主避難』※を推奨していきます。

※『自主避難』とは、避難先及び移動手段を平素から決めておき、個別事情に合わせた避難先の選択とリードタイム（避難に要する時間）を確保でき、円滑な避難行動をとることができるものです。

- 『自主避難』の推奨も含め、次の①から③までの対策を実施します。

- ①マイタイムライン等の作成促進
- ②訓練による検証、マニュアルの修正
- ③防災知識の普及啓発と情報発信の充実強化

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市 市長室 危機管理課 電話 046・235・4790